

『バタフィア発信書翰控簿』データベース

松井 洋子：東京大学史料編纂所

バタフィア発信書翰控簿 (Batavia's Uitgaand Briefboek 以下 B U B) は、オランダ東インド会社 (De Verenigde Oostindische Compagnie) のアジアにおける本店機能を果たすバタフィアの総督 (Gouverneur-Generaal) 及び東インド評議会 (Raad van Indie) が、東インド各地の出先機関及び現地政権などにあてて発信した書翰及び命令書等の控簿であり、1621 年から 1792 年までほぼ連年のもの簿冊にして約 200 冊が、オランダ国立中央文書館 (Algemeen Rijksarchief) に残っている (文書所蔵番号 VOC849-1052) 。 直接「琉球」充てのものはないが、バタフィアを中心とする文書 = 情報の流れの中に日本や南海 (あるいは東南アジア諸地域) がどう位置づけられているのかを見ることが出来る文書群である。

本データベースは、東京大学史料編纂所が所蔵する、B U B のマイクロフィルム及び同フィルム目録刊行のために準備している文書 1 点ごとのカードを利用して作成した。

(1) データベースソフトは Access (Windows 版) を用いた。

(2) データ項目は以下の通りである。

「所蔵者番号 (VOC) 」 原史料の簿冊毎に付与されたもの。

「フィルム番号 (Group/Vol.) 」 史料編纂所所蔵マイクロフィルムの番号

「カード番号」カード作成時に順番に付与したもの。各簿冊内での 1 点ごとの文書を特定する番号となる。

「開始ページ/フォリオ」

「終了ページ/フォリオ」

「日付」原文書の日付 (例 22en Januarij anno 1644) を 8 桁の数字で表示 (16440122)

「宛先地名」

「文書形式」 Missive(書翰)、Instructie/Ordre(命令書)、Register/Inventaris(送付書類目録)、Eysch(注文)等といった文書の形式。

「宛先人・経由地その他」原文書の送付目録や表題からわかるその他の情報

「備考」日付、ページの錯簡、撮影時の重複・欠落、別文書との関連等についての情報

(3) 入力は本科研費により平成 7 年度 (アルバイト) 、平成 8 年度 (外注) に行ない、現在までに 1643 年 ~ 1647 年、1652 年から 1663 年の 15 冊、3340 件分が終了した。ここにはそのうち、校正、修正の終わった 1643 ~ 1646 年分 (VOC867 ~ 870) 825 件を掲出した。今後さらに件数を蓄積し、また修正を終えてから将来的には公開の予定である (史料編纂所所蔵のオランダ東インド会社文書マイクロフィルム目録の一環となる) 。